

# 水道 江刈地区整備終了

## 今年6月に完成

**維持管理費が減少**  
**水道会計**  
 30年度決算は事業収益1億5628万円に対し、事業費用が1億9959万円で4331万円の純損失を計上し、赤字決算となりました。これにより累積欠損金が7905



江刈地区水道の水道管布設工事（追鍋橋・栗山地区）

### 30年度水道事業会計決算状況

区分	30年度	29年度	前年対比
事業収益(a)	1億5628万円	1億5594万円	0.2%
事業費用(b)	1億9959万円	1億9168万円	4.1%
純損益(a)-(b)	△4331万円	△3574万円	△21.2%
年度末累積欠損金	7905万円	3574万円	121.2%

万円の増加しました。建設改良工事では、江刈地区水道整備事業を行い老朽施設の更新に努めました。施設整備により、漏水件数が減少するなど修繕費が前年度に比べて480万円縮減となりました。江刈地区水道整備事業

万円の増加しました。建設改良工事では、江刈地区水道整備事業を行い老朽施設の更新に努めました。施設整備により、漏水件数が減少するなど修繕費が前年度に比べて480万円縮減となりました。江刈地区水道整備事業

### 安全な水道維持を

30年度は赤字決算となり、累積欠損金が増加しました。資産の減価償却費が9266万円であったことが赤字の大きな要因です。当町は面積が広いため、配管の総延長距離が長く、浄水施設が多くなっています。

水道事業会計経営戦略の策定が義務付けられたことから、今後、事業の将来像が示されることとなりますが、全国的に人口減少社会が進む中でも、安全で安心な水道を供給する事業の持続性確保を期待します。

# 病院 入院患者減少傾向

## 収益は5千万円黒字

### 7月定例会議

7月定例会議は、7月5日から12日までの8日間の日程で行われました。町長から提出された議案は、30年度葛巻病院事業会計と水道事業会計の決算認定や元年度補正予算など8件で、全議員の賛成で原案どおり『決定』しました。一般質問では2人の議員が登壇し、町の対応や考えをいただきました。

### 介護入院が大幅減

### 病院会計

30年度決算は事業収益12億5004万円に対し、事業費用が11億9977万円で5027万円の純利益を計上し、黒字決算となりました。これにより累積欠損金が5億5526万円に減少しました。年間延べ入院患者数は、一般病床が8384人で、前年度より860人減少し、介護療養型病床が2649人で、前年度より2484人減少しました。その要因は、新年度から

地域包括ケア病床へ移行するために調整を行ったため、介護療養型病床の減少が大きくなりました。入院患者数は減少しましたが、特別利益を3億円計上できたことにより、収益が増加し黒字決算となりました。

### 地域包括ケアに期待

### 監査委員の意見

30年度決算は黒字決算となり、累積欠損金が減少しました。前年度まで負債に計上していた新病院建築に係る国庫補助金

### 30年度病院事業会計決算状況

区分	30年度	29年度	前年対比
事業収益(a)	12億5004万円	10億7062万円	16.8%
事業費用(b)	11億9977万円	12億5293万円	△4.2%
純損益(a)-(b)	5027万円	△1億8231万円	127.6%
年度末累積欠損金	5億5526万円	6億553万円	△8.3%

などについて、消費税、減価償却費見合い分を精査し、収益化できたことが主な要因です。新年度から厳しい施設基準を満たして、地域包括ケア病床をスタートさせており、町が進める地域包括ケアシステムの実現に期待します。

### 常任委員会

輝くふるさと常任委員会（鈴木満委員長）は、7月9日に病院事業会計決算と水道事業会計決算を審査しました。主な質疑は次のとおりです。

**借り入れ金返済予定** 葛巻病院

**問** 新病院建設にかかる企業債の償還見通しは。  
**答** 償還額は全体で27億円。今年度から償還を開始しており、ピークは令和4年度の1億3700万円。

**次期水道整備箇所** 建設水道

**問** 江刈地区水道完成後の水道整備予定は。  
**答** 次の整備計画は、経営戦略を策定後に、具体的な方向性を示す予定です。